

報道関係各位◎展覧会のご案内

展覧会 PART OF THE ANIMAL 動物と人間のあいだ



画像① 展覧会チラシ

参加の研究者・アーティスト(五十音順)

- いがらしだいすけ 五十嵐大介(漫画家) いしくらとしあき 石倉敏明(人類学者)
- おおいしゆか 大石侑香(エスノグラファー) おおこじま まき 大小島真木(アーティスト)
- おだたかし 小田隆(画家、イラストレーター、大学教員) ケイトリン・コーカー(ダンサー、人類学者)
- こうのいけともこ 鴻池朋子(アーティスト) さいとうあや 齋藤亜矢(認知科学者)
- すがけいじろう 菅啓次郎(詩人) すがわらかずよし 菅原和孝(人類学者)
- たけかわだいすけ 竹川大介(人類学者、漫画家) ながさかあき 長坂有希(アーティスト)
- ながさわあおい 永沢碧衣(アーティスト) にしざわまきこ 西澤真樹子(なにわホネホネ団団長、大阪市立自然史博物館外来研究員)
- にわともこ 丹羽朋子(人類学者) ねもとゆうこ 根本裕子(陶芸家)
- はせがわともひろ 長谷川朋広(ゲームクリエイター、アートディレクター) もりぐちみつる 盛口満(作家、イラストレーター、理科教師)
- やまぐちみかこ 山口未花子(人類学者) よしだゆかこ 吉田ゆか子(人類学者)

本展に関するお問い合わせ: 生活工房 石山那緒子(広報担当)、天野典子(展覧会担当)

154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1キャロットタワー

TEL/03-5432-1543 Email/info@setagaya-ldc.net

Summary (要約版をP3に掲載しています)

共に動物である私たち

太古の昔から人間は、動物をえがく／動物とえがく／動物でえがく、といった表現を続けてきました。本企画は、絵に描くだけではない、詩や音楽や、演劇、踊りをも包括した〈動物をえがく〉ことについて、人類学・芸術学・生物学・比較文学の研究者たちが世界をフィールドにおこなった調査や、アーティストたちの思索をたどりながら「動物と人のあいだ」の回路をひらく展覧会です。

私たちはなぜこんなにも動物に惹かれ、憧れるのでしょうか。本物に遭ったら怖いけれど、クマのぬいぐるみは大切な友だち。半人半獣のモンスターゲームに自分を重ね、ミツバチの羽音から音楽を生み、遠洋のクジラの一生を想う……。動物は人間の情動やイマジネーションの源泉であり、動物と人間のあいだには数多の神話や寓話が生まれ、その物語の続きに私たちは暮らしています。かたや多くの人々は、狩猟採集の生活から離れ、人間が中心／頂点であると考え、自らの生きる環境をも壊す事態を引き起こしています。

今こそ人間は「動物の一部(一員)である私たち」という感覚を取り戻し、他の動物たちと交歓する必要があるのではないか。本展では、その問いのもとに、アーティストたちが制作した絵画やインスタレーション作品、研究者たちが調査地で採集した資料、映像などを展示し、そのまじわりの様相や可能性を体感していただきます。また会期中にトークイベントやワークショップも開催し、動物と人とのあいだに起こる身体的・精神的変化も考察します。



画像② 聖獣バロン バリ島 撮影:吉田ゆか子



画像③ 《ホロビオント-Root or route》 大小島真木

Outline

タイトル PART OF THE ANIMAL 動物と人間のあいだ

概要

昔から人間が行ってきた動物をえがく／動物とえがく／動物でえがく、といった表現について、世界をフィールドにした研究者たちの調査や、アーティストの思索をたどり、動物と人とのあいだの回路をひらく展覧会です。

会期 2025年1月21(火)～4月20日(日) 9:00～21:00
月曜休み(休日はのぞく)

会場 生活工房ギャラリー(三軒茶屋・キャロットタワー3階)
154-0004 東京都世田谷区太子堂4-1-1
TEL 03-5432-1543
www.setagaya-ldc.net

料金 入場無料

交通案内 東急田園都市線・世田谷線「三軒茶屋駅」直結
東急・小田急バス「三軒茶屋」停留所そば

主催 公益財団法人せたがや文化財団 生活工房

企画制作 山口未花子、石倉敏明、丹羽朋子

協力 ArtSticker、株式会社 The Chain Museum、北秋田市くまくま園、
福島県立相馬高校放送局、峰岸有紀

後援 世田谷区、世田谷区教育委員会



画像④ 《野良犬》根本裕子 撮影:三浦晴子



画像⑤ 行山流舞川鹿子躍 撮影:石倉敏明

New Book

本展参加の研究者・アーティストによる書籍が出版されます。

2024年12月24日発売 岩波書店

『〈動物をえがく〉人類学——人はなぜ動物にひかれるのか』

山口未花子・石倉敏明・盛口満 編著 A5判・並製カバー・320頁 定価 3,740円(税込)

人間はなぜ動物をえがくのか。動物にひかれる人間とは何者か——。人類学をはじめ多分野の研究者12名と多彩なアーティスト11名の、古今東西の絵や詩、演劇や音楽、舞踏などの表現をもとに考察する画期的論集。

Event

1 トークイベント「動物と人間のあいだを考える」

開催日時:1月25日(土) 13:30-16:30 参加費:1,000円

概要:私たちはなぜ動物に惹かれるのか、なぜ動物をえがき、歌い、踊るのか。本展協力の研究者と出品アーティストたちが語り合います。

ゲスト:五十嵐大介、石倉敏明、大石侑香、大小島真木、小田隆、鴻池朋子、菅原和孝、丹羽朋子、根本裕子、長谷川朋広、山口未花子(一部のゲストはオンライン参加)

2 ワークショップ「ジェンダーとは? からだを動かして、楽しく学ぼう」

開催日時:2月8日(土) 13:30-16:00 参加費:1,000円

概要:近年特に注目されている「ジェンダー」とは一体何でしょうか? からだを動かして、動物やスーパーヒーローになりきることで、ジェンダーについて考えます。身体を使った遊びを通じて、ジェンダー差別に気づいたり、自身をとりまくジェンダーの問題を探ってみましょう。

講師:ケイトリン・コーカー

3 ワークショップ「バリ舞踊にみる自然——動物や植物で躍るからだ」

開催日時:2月9日(日) 13:30-15:00 参加費:1,000円

概要:バリ島の舞踊には、動物や植物、水や風をもとにした表現がたくさんあります。そうした自然の躍動はどのように踊りになるのでしょうか? 人類学者によるトーク、舞踊家の実演、参加者の体験もおこないます。

講師:吉田ゆか子、アナック・アグン・グデ・イスワラ・マンデラ(舞踊家)

4 対談イベント「動物をめぐる対話1——動物を狩ること、えがくこと」

開催日時:3月8日(土)13:30-16:00 参加費:1,000円

概要:4万年以上前、洞窟になぜ動物がえがかれたのでしょうか? 狩る・狩られるという交わりの中で、絵画や音楽、踊りなどの表現が生まれたこと、そして「動物になる」、「動物と会話をする」ことの意味について語り合います。

ゲスト:齋藤亜矢、竹川大介、山口未花子

5 対談イベント「動物をめぐる対話2——それぞれの環世界、共に動物である私たち」

開催日時:3月9日(日)13:30-16:00 参加費:1,000円

概要:人間中心ではなく、「人間以上のもの」を尊重するマルチスピーシーズの思想や、そこから動物と人間の関係性を再構築し、作品を創作する実践などについてお話します。

ゲスト:石倉敏明、管啓次郎、長坂有希

6 ワークショップ「動物とふれる、つくる、えがく」

開催日時:4月12日(土)13:00-17:00頃、4月13日(日) 10:00-15:30頃

参加費:2日間通し3,000円、4月12日のみ1,000円

概要:いつもとはちがう動物との関わりを考える2日間。1日目はゲッチョ先生(盛口満氏)の骨の授業。剥製作りの実演を見学し、毛皮や羽根などに触れてみます。2日目はクマや魚やシカなどの骨・皮・血を活かして、絵を描いたり皮小物をつくったり創作体験をします。

講師:石倉敏明、永沢碧衣、西澤真樹子、長谷川朋広、盛口満、山口未花子

会場

生活工房セミナールームもしくはワークショップルーム

定員

1・4・5 トークイベント・対談: 申込先着 50 名

2・3 ワークショップ: 申込先着 20 名

6 ワークショップ: ①2 日間通し参加 抽選 20 名 ②4 月 12 日のみ参加 抽選 20 名

※2・3・5は小学生以下保護者同伴(参加費無料)

申込方法

1~3 2024 年 12 月 25 日 10 時より生活工房 WEB サイトにて受付

4~6 2025 年 1 月 25 日 10 時より生活工房 WEB サイトにて受付



画像⑥ 窓花の虎 中国陝西省 撮影:丹羽朋子



画像⑦ 6 歳児の犬の絵 撮影:竹川大介



画像⑧ ヘラジカのなめし皮の工芸品 撮影:山口未花子



画像⑨ 白トナカイと黒トナカイ ハンティ・マンシ自治管区 撮影:大石侑香



画像⑩ 《ボードゲーム すごろく地図》 鴻池朋子



画像⑪ 《Heart To Face》 永沢碧衣

「PART OF THE ANIMAL 動物と人間のあいだ」 広報用画像の貸し出しについて

展覧会広報用の画像をご用意しています。ご希望の際は貸出条件をご確認いただき、下記①～⑨の必要事項を明記のうえ、Eメールにてお申し込みください。

なお、本展紹介記事をご掲載いただく際は、恐れ入りますが情報確認のため、掲載前に校正原稿をお送りください。

また、掲載後、掲載誌、URL等を広報担当宛てにお送りいただきますようお願い申し上げます。

【貸出条件】

- ◆画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- ◆画像データは、ご使用后必ず消去してください。
- ◆画像データを第三者に渡すことを禁じます。

【必要事項】

- ① 媒体名 (雑誌名、番組名、WEBサイト名など)
- ② 媒体種別 (新聞、雑誌、フリーペーパー、テレビ、ラジオ、WEBサイトなど)
- ③ 発売、放送、更新等予定日
- ④ 御社名
- ⑤ ご担当者名
- ⑥ ご住所
- ⑦ Eメールアドレス
- ⑧ 電話番号
- ⑨ ご希望の画像番号
 - 画像① (P1掲載) 展覧会チラシ
 - 画像② (P2掲載) 聖獣バロン バリ島 撮影:吉田ゆか子
 - 画像③ (P2掲載) 《ホロビオント-Root or route》 大小島真木
 - 画像④ (P3掲載) 《野良犬》 根本裕子 撮影:三浦晴子
 - 画像⑤ (P3掲載) ぎょうざんりゅうまいかわししおどり 行山流舞川鹿子躍 撮影:石倉敏明
 - 画像⑥ (P5掲載) まどはな 窓花の虎 せんせい 中国陝西省 撮影:丹羽朋子
 - 画像⑦ (P5掲載) 6歳児の犬の絵 撮影:竹川大介
 - 画像⑧ (P5掲載) ヘラジカのなめし皮の工芸品 撮影:山口未花子
 - 画像⑨ (P5掲載) 白トナカイと黒トナカイ ハンティ・マンシ自治管区 撮影:大石侑香
 - 画像⑩ (P5掲載) 《ボードゲーム すごろく地図》 鴻池朋子
 - 画像⑪ (P5掲載) 《Heart To Face》 永沢碧衣

生活工房 広報担当 石山 行き
Email info@setagaya-ldc.net